

■ニューロネット、SNS、Web画面共有、VoIP、ビデオチャット、ホワイトボードが連動したWebコラボレーションサービスをSaaSベース低コストで提供

「既存の遠隔会議システムは、一時的なミーティングの場を提供するのみに特化しており、人と人とのつながりといったグループや組織という観点から会議の成果物やそれによる知の蓄積が難しかった。しかし、会議の成果は次の会議の成果を生む種だ。蓄積をしっかりと行っていくことで次ぎの会議の生産性や創造性が高まると考えている。そのためのシステムを考えた。サービスが高額では導入できる企業が限られてくる可能性があるため、ワンコインという低コストで利用できるサービスを開発した。それがSaasBoardだ。」(ニューロネット)

ニューロネット株式会社(東京都渋谷区)が開発したSaasBoardの特長は、ソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)といった情報蓄積系のシステムに、Web画面共有、ホワイトボード、そしてIP電話やビデオチャットなどのリアルタイムコミュニケーションを一体化させたところに特長がある、SaaSベースのWebコラボレーションサービス。ニューロネットは、2009年10月よりサービスを本格開始した。

「Web会議と称して提供されている類似のサービスの多くは“会議室型”すなわちTV会議がWebに置き換わっただけのものが多く、単に会議の場を提供するにとどまっている。それでは、会議が終わればその会議でのアウトプットを蓄積するのが難しいのではないかと思っていた。」(ニューロネット)

それに対して、SaasBoardは「個人ID型」であり、個人がIDを持つことによりSaasBoardの世界にいれば、個人を基点に、さまざまな人とグループを作ることができ、それぞれのグループに応じて、誰とでも単にコミュニケーションが出来るだけでなく、資料や情報の蓄積・共有・参照も簡単に出来る。その点がSaasBoardと他のWeb会議システムとの違いだと同社では指摘する。

「会議室の数により、同時に会議できる数が制限され

る会議室型にくらべると、個人が自由にいつでも、誰とでも会議が持てる個人ID型SaasBoardは生産性やコスト削減効果も高く、Webコラボレーションと呼ばれ、今後のWeb会議の主流となると考えている。」(ニューロネット)

SaasBoardは月額費用にて提供されるサービスであるため、ソフトウェアのダウンロードや、システムの管理はもちろん不要。インターネット接続、パソコン、主要なブラウザに対応し、指定されたSaasBoardサイトにアクセスするだけでサービスの利用ができる。また、日本語サイト(.jp)と英語サイト(.com)を持ち、これらが相互に通信できることで、世界中での利用に対応している。

SaasBoardは、SNS機能を通して、人と人とのつながりをベースとしたグループを作成し、そのグループ毎の参加者が個別に作成した、あるいは、SaasBoardのWeb画面共有を通して作成された、資料や情報を蓄積することができる。もちろん、その資料に対するアクセス権も設定できる。

またSaasBoardのIP電話やビデオチャット機能については、Skypeとの連動の他、ニューロネットが独自開発した音声と映像機能を提供している。Web画面共有を行いながら、音声や映像でのコミュニケーションも同時に行えるようになっている。

SaasBoardが提供するWeb画面共有の機能は、京大の久保田秀和氏(日本学術振興会特別研究員、現産業技術総合研究所)が2006年にWeb上で公開したWebページ作成ツール「PositLog」がベースになっている。

PositLogは、文章、写真、手書き、動画などを、付箋紙を貼り付けるようにホワイトボード上に自由に並べ貼り付けることができ、それをHTMLファイルとして保存し、インターネット上に公開すれば一般のWebページのごとくインターネットに接続しているところからであればどこからでも参照できる。さらに、そのHTMLファイルに対して書き込み権限があれば他の写真などを追加して貼り付けたり、テキストを書き込んだり修正を加えたりも

ニューロネット様
CNAレポート・ジャパン
定期レポート 記事原稿 2009年10月7日版

できる。「PositLog は、2500 本以上ダウンロード実績があるソフトウェアだ。その実績のあるホワイトボード的なソフトウェアに、SNS や映像と音声などを組み合わせて開発されている。」(ニューロネット)



SaaSBoard-映像と音声によるミーティング例(ニューロネット資料)



SaaSBoard-資料共有例(ニューロネット資料)

SaaSBoard のホワイトボードは、PositLog の特長を引き継ぎ、テキスト、写真、動画(同社では、これらをスプライトと呼ぶ。)などPCで取り扱えるデータであればなんでも、ホワイトボード上のスペースのどこでも自由な私たちで貼り付けることができる。たとえば、Youtube のビデオクリップを貼り付けたり、またホワイトボード上に貼り付けられたスプライトにホームページのアドレス(URL)を設定したりすることもできる。「簡易な HTML エディタ的な性格も持っている点は他のウェブ会議システムのホワイトボード機能とは違う点だと思う。既存のウェブ会議システムのホワイトボードであれば、GIFファイルなど画像による保存のため、修正や追加が難しいが、SaaSBoard のホワイトボードは、その点、簡単に入力が行える。また容易にイントラネット、インターネットなどに

公開できるのも便利な点だと思う。」(ニューロネット)

さらに、ホワイトボードのスペースは広く使えるため、ホワイトボード上の入力作業を容易にするための、「スケール」や「マップ」の機能を提供している。

スケールは、電子地図の縮尺と同じで、スケールを上げるとホワイトボード上の細かいところまで見える。一方スケールを下げると、ホワイトボード全体を俯瞰できるようにするもの。また、マップは、スプライトや、その現在入力作業をおこなっているところが、ホワイトボード上のどの位置にあるのかを示すもの。仮に多くのスプライトをホワイトボード上に広い範囲で貼り付けたりしたとしても、スケールとマップで簡単にその位置を特定できるようになっている。「ホワイトボードのスペースは無限に取れるが、こういった機能を加えることで、操作性を高めた。」(ニューロネット)



SaaSBoard ホワイトボード画面:海外出張打ち合わせ例、ホワイトボード右下の方にスケールとマップが表示されている(ニューロネット資料)



SaaSBoard ホワイトボード画面:結婚寄せ書き例(ニューロネット資料)

ところで、SaasBoard を利用する場合、ビジネス向け（有償）と個人向け（有償版および無償版）から選択する。有償版では、同社が開発した音声とビデオチャット機能が提供され、個人向け無償版ではこれに代わり Skype がエンベッド（組み込み）されており、Skype で音声チャットが行えるようになっている。

利用料金は、「パーソナル」、「エンタープライズ」、「メンバーシップ」の3種類で提供。パーソナルは、個人向け有料サービスで1IDから使用可能。月利用料金が980円固定で使い放題。

一方、企業および、学校・塾などの教育機関向けに提供するエンタープライズ、会員制組織形態に提供するメンバーシップは、初期費用が1IDあたり4,200円、月額使用料一人当たり980円固定。またオプション（別費用）で、ディスク容量追加、録画再生、画像帯域保証、SSL設置、サポート、コンサルティングなども提供する。各サービスの注文は、ニューロネットホームページから申し込み可能。2週間の無料トライアルも提供している。

SaaSBoard は、企業での社内コミュニケーションの効率化のために活用したり、Web 講義&Web セミナーでの遠隔聴講に活用したり、遠隔保守/カスタマーサービス、あるいは、コミュニティサイト、SNS 型掲示板などのサービスプラットフォームとしても使用できる非常に広い用途範囲に対応したサービスだと同社では説明する。

「コスト的には、エンタープライズやメンバーシップであっても、1ユーザアカウントあたり980円という低コストで、SNS からビデオチャット、Web 画面共有、ホワイトボードまで行える。この価格は他の類似サービスに比べても1/5~1/10という破格的な低価格だ。広くいろいろな方々に使って頂くことで沢山の人がつながり、ユーザの利便性が向上する。これを SaasBoard の事業化にあたってサービスモデルの軸とした。」（ニューロネット）

同社代表取締役の前川博文氏は、産業総合技術研究所（産総研）でベンチャーの起業・指導を行い、2年間の任期を2008年3月に終え、ニューロネット株式会

社を2008年4月設立。同年6月に前川氏が、元京都大学の久保田氏（現産総研）と、PositLog をベースに Web 上でのホワイトボード型コミュニケーションツールを共同で事業化したのが、SaasBoard になる。

「SaasBoard は、『いつでも、どこでも、誰とでも』インターネットやブラウザを通した Web コラボレーションが簡単に行えることが特長だ。そのためには、低コストの SaaS によるサービスモデルがユーザにとって最適だと考えた。今後は、SaaS の普及とともに、個々人の働き方も大きくかわると思う。そして個々人が生き活きとメンバーやグループの仲間とコミュニケーションしたり、コラボレーションしたりできる日がくると考えている。それを私たちは、SaaS ワーキングスタイル（SaaS Working Style）と呼んでいる。そういった時代に SaasBoard は低コストの便利なツールとして沢山のユーザに活用していただきたい。そして私たちは Web 会議/ビデオ会議のデファクトスタンダードを目指したいと考えている。」（ニューロネット）

ニューロネットは、日本での展開をおこないつつ、今は、北米への進出も予定しているという。その後は、中国や欧州への展開も検討している。「すでに北米の某企業からも引き合いがきており、北米でのサービスプラットフォームとして SaasBoard を検討していただいている。先行の Web 会議ベンダーよりも低コストで豊富で便利な機能を提供していきたい。同等もしくは、それ以上であれば SaasBoard をユーザが選択してくれると期待している。」（ニューロネット）